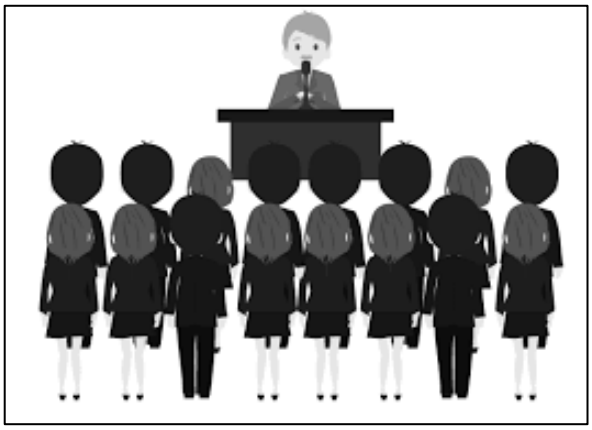
デジタル版
2025年
04月03日号
Vol. 152

成岡マネジメントオフィス事務所通信

NMO OfficeLetter

京都企業トップから新入社員へのメッセージ



4月1日一斉に定期新入社員の入社式が行われ、トップからの熱いメッセージが発せられた。数名の企業もあれば、数10名、200名を超える新入社員を迎えた企業もある。今年の大卒入社者の初任給は前代未聞と言われるくらい高くなった。30万円を超える企業も多く、あまりに高いので心配した両親もいたという笑い話まである。トップが語ったメッセージから何を読み取るのか。業績が好調な企業もあれば、希望退職者を募集中の企業もある。明暗分かれた今年の入社式はどうだったか。

＜解説＞30万円を超える初任給になったにも関わらず、3年後に3割、5年後に5割の採用者が退職する現実は変わらない。一方で、AIなどの普及、リモートワークの浸透など、職場環境は様変わりしている。トップが一様に話したのは、自主的に創造的に業務を進められる能力を身に着ける事。22歳とすれば、生まれは2002年前後で平成14年くらいか。バブルの後始末も一段落し、少し日差しが差し込んできた時代か。しかし、その後リーマンショックがあり、大震災があり、多くの困難が待ち受けた。いつの時代もいい時期と悪い時期は交互に訪れる。それを嘆いていても始まらない。時代とはそういうものだと思って、真正面から立ち向かう勇気と意思を持つことだ。代表的なトップのメッセージを紹介しよう。「逆境をチャンスととらえ」「革新を起こして欲しい」「新しい感性で」「自らキャリアを描き成長する」「自ら進んで新しいことにトライ」「切磋琢磨し個性を磨く」「前例や慣習にとらわれない」「自分で限界を決めず」「新しいことに挑戦する」「失敗を恐れない」「チャレンジから学ぶ」「やりたいことができるいい会社に」「常に学び続ける」「自分の考えを積極的に発信する」「未来を共に築く」「自分の価値観と会社の価値観を融合する」「新たな時代を創造する」「世界に通用するプロフェッショナルに」「革新力を生み新しい価値を創造」「平成生まれの矜持を持つ」「凡事徹底」「事業計画の必達に執着」「明るい未来へ考動する」。さあ、この中でどれくらい共感するフレーズがあっただろうか。明日には忘れるようなものではダメだ。入社式のメッセージを一生の宝とするくらいの気概がないといけない。少し時間が経つと忘れたというのが本音だろうが、それではいけない。

BUSINESS MANAGEMENT&COORDINATION
株式会社成岡マネジメントオフィス
〒616-8104　京都市右京区太秦下刑部町170
プレサンスロジェ太秦天神川駅前613
TEL:075-366-6611　FAX:075-366-6100　info@nmo.ne.jp

Copyright (C) Naruoka Management Office. All rights reserved.